野村・小部野遺物散布地

調 査 地 加東郡社町野村字安取ほか

調査期間 2002年 2月 4日から

2月 5日まで

原 因 社町道野村環状線敷設事業

原 因 者 兵庫県加東郡社町

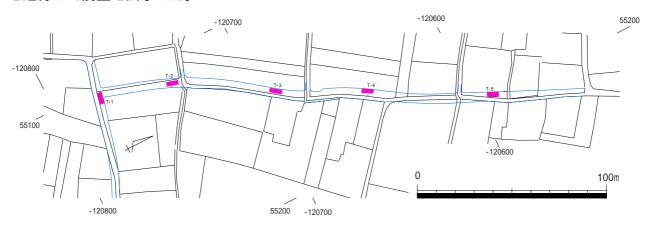
調査面積 約 6 0 m² 調査担当 森下大輔



調査位置図

社町野村地内において町道新設事業計画があり、埋蔵文化財の照会を事業担当課である産業振興課より受けていた。この地域は『播磨風土記』にいう、小目野一帯に比定されており、少量とはいえ、遺物散布も認められたところから、周知の遺跡ではないが、確認調査を実施することが望ましい旨を伝えていた。

具体的には2月4日付社産第109号で確認調査の依頼があり、急遽当日より調査を開始した。 調査は計画用地内の5カ所にトレンチを設定し、遺構・遺物の有無に努めたが、遺構は検出されず、遺物も中世期のものが微量出土したに留まるところから、慎重に工事を実施するよう回答を送付して調査を終了した。



トレンチ設定図

.00m	_		<u>40.0</u> 0m	
	耕作土 10YR6/2			耕作士 10YR6/2 床上 10YR6/3
	砂質土 7.5YR2/2			砂質土 7.5YR2/2
	ベ - ス 砂質土 7.5YR4/3			ベ-ス 砂質土 7.5YR4/3
<u>O</u> Om	_	_	<u>40.0</u> 0m	
	耕作土 10YR6/2 砂質土 10YR6/3	 -		耕作士 10YR5/2 砂質土 10YR5/3
	ベ - ス砂質土 7.5YR2/2			砂質土 7.5YR2/2
				ベ-ス 砂質土 10YR5/3
<u>5</u> 0m	_			
	耕作土 10YR5/2			
	ベ - ス 砂質土 10YR5/3			0 2m

断面図

